

JFA 第26回全日本 U-18女子サッカー選手権大会青森県大会

JOC ジュニアオリンピックカップ

実施要項

1.趣旨

青森県における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与すること、そしてクラブチームのさらなる増加、活動の活性化を目的として、本大会を実施する。

2.名称

JFA 第 26 回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会青森県大会

JOC ジュニアオリンピックカップ

3.主催

一般社団法人青森県サッカー協会

4.主管

一般社団法人青森県サッカー協会女子委員会

特定非営利活動法人八戸市サッカー協会

特定非営利活動法人十和田市サッカー協会

5.開催日

2022年8月20日(土)、9月3日(土)、4日(日)

6.会場

十和田市高森山総合運動公園多目的グラウンド(8月20日)

八戸市多賀多目的運動場人工芝球技場(9月3日、4日)

7.参加資格

(1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」という。)に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。

都道府県高等学校体育連盟加盟チームを除く。

(2) 選手は2004年(平成16年)4月2日から2010年(平成22年)4月1日までに生まれた女子選手であり、本大会参加申込締切日までに日本協会に登録(追加登録も含む)されていること。但し、都道府県高等学校体育連盟加盟選手を除く。

また、高校生の選手登録は3名以上を必須とする

(3) クラブ申請制度の適用

本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手(複数人も可)については、所属チームから移籍すること無く、上記(1)のチームで参加することができる。但し、参加する選手については、以下のすべてを満たしていること。

①上記(2)を満たしていること。

②下記種別区分のチームに所属すること。

(ア)参加チームの種別区分が「WE リーグ・L リーグ・一般・大学」の場合:

同一「クラブ」内のチーム登録種別区分「高校」・「クラブ(高校生)」・「中学」・「クラブ(中学生)」

(イ)参加チームの種別区分が「高校・クラブ(高校)」の場合:

同一「クラブ」内のチーム登録種別区分「中学」・「クラブ(中学生)」

③本大会の予選を通して、他のチームで参加(参加申込)していないこと。クラブ申請制度の適用:日本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームから移籍すること無く、上記(1)のチームで参加することができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。

(4) 外国籍選手:5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

(5) 移籍選手:本大会の予選を通じて、選手は他のチームで参加(参加申込)していないこと。

(6) 各チームの登録選手は選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付けにより、顔の認識が出来るものであること。

※選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す

8,大会形式

リーグ戦方式とする。ただし、参加チーム数が4チーム以上の場合はトーナメント方式とする。

9,競技規則

大会実施年度の日本協会「サッカー競技規則」による。

10,競技規定

(1) 参加申込選手

本大会に参加申込出来る選手の人数は1チーム30名以内とし、変更を認めない。

(2) 競技者の数

①競技者の数:11名

②交代要員の数:7名

③交代を行うことができる数:5名以内

④選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。

延長戦に入った際、後半に3回選手交代を行った場合でも、選手交代を行うことができる。(交代枠が残されている場合に限る)

(3) ベンチ入り出来る役員の数 :6 名以内

(4) テクニカルエリア

設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ 1 人の役員が伝える事が出来る。

(5) 競技者の用具

①本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

②J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(J リーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。

日本女子プロサッカーリーグ傘下のチームについては、一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WE リーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。

日本女子サッカーリーグ傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリー(なでしこリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。

ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。

この際、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。

③ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB 登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。本協会に登録されたものを原則とする。

④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑤ 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑥ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

⑦ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

⑧ユニフォームへの広告表①大会実施年度の日本協会「ユニフォーム規程」に則る。

(6) 試合時間

①試合時間:90 分(前・後半 45 分)

②ハーフタイムのインターバル:15 分(前半終了から後半開始まで)

③順位を決定する方法

順位決定方法は、勝利3点、引き分け1点、敗戦0点とし、勝ち点の多い順に決定する。

ただし、勝ち点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。

ア)当該チーム同士の対戦成績(勝敗)

イ)全試合の得失点差(=総得点-総失点)

ウ)全試合の総得点

エ)抽選(当該チーム代表者の立会による。)

④アディショナルタイム表示:実施する

⑤参加チーム数が 4 チーム以上でトーナメントとなった場合

ア)1 回戦~準決勝:勝敗が決しない場合 PK 方式により勝者を決定する。

イ)決勝:20分(前・後10分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

延長戦に入る前のインターバル:5分間

PK方式に入る前のインターバル:1分間

(7) メンバー提出

双方のチームは、試合開始 80 分前までに「メンバー提出用紙」(4部)に必要事項を記入し、全選手の選手証とともに本部に提出し、試合エントリーを完了しなければならない。

(8) ユニフォームチェック

試合開始 60 分前に審判立ち合いのもと、ユニフォームチェックを行なう。

(9) その他

①第4の審判：任命する。

②負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

③チームベンチ：ピッチ上本部からフィールドに向かって

左側・・・対戦表の左(上)に記載されているチーム

右側・・・対戦表の右(下)に記載されているチーム

11. 参加申込及び参加料

(1) 参加申込は、参加申込書（メンバー提出用紙兼ねる）に必要事項を記載し指定の申込先に電子データ等をメール送信すること。

(2) 申込締切日：令和4年7月29日（金）17:00 必着

(3) 参加料：20,000円

(4) 参加料は、指定の口座に振り込むこと。

振込人名はチーム名とし、振込手数料はチームでご負担ください。

また、「KICKOFF」から出力した登録選手一覧をPDFにて提出すること。

※参加申込締切以降の登録内容の変更は認めない。

12. 懲罰

(1) 本大会中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(2) 本大会に於いて退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場出来ず、それ以降の処置については、一般社団法人青森県サッカー協会 規律・裁定委員会にて決定する。

(3) 本実施要項に記載のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

13. 表彰

優勝・準優勝に表彰状を授与する。

14. その他

(1) 組合せ抽選会 日時：2021年8月7日(日)12時(予定) 場所：七戸総合運動公園(ガールズ・レディースサッカーフェスティバル開催会場) ※参加できない場合は、女子委員長と大会事務局にて代理抽選とする。

(2) 優勝したチームは2022年10月15日(土)・16日(日)決勝11月3日(水・祝)山形県で開催

される東北大会の出場権を与える。

- (3) 試合球はモルテン社製「ヴァンタッジオ 4900 ピンク 5号品番:F5A4900-P」とする
- (4) 各チームは必ず帯同審判員を同行すること。(出来る限り、女子審判員が望ましい。)
- (5) 試合会場では応急処置のみとし、それ以降の対応は各チームにより行う。